

「2011年3月期決算説明会」 質疑応答

Q1)東日本大震災の影響を教えてください。

A1)2010年度の生産、販売への影響は軽微でした。また、2011年度は震災により売上高が減少すると見込んでおり、業績予想に織り込んでいます。セグメントとしてはパチンコホールの輪番休業が実施される遊技市場等で設備投資に影響が出ると予想しています。

Q2)2011年度の計画において営業利益が下期偏重である理由を教えてください。

A2)例年、当社は下期の方に売上高の比重が高まる傾向があり、そのため営業利益も下期偏重となります。今年度の計画も同様の傾向が見られますが、特に今年度は震災により多少生産が下期へシフトすることも影響しています。

Q3)海外OEM製品の受注状況について教えてください。

A3)主要製品のATM用入金ユニットの需要は2010年度の第4四半期頃から上向きになっています。OEM 先でも今期ATMを1割増産すると発表していますので、弊社への注文も拡大するとみています。

Q4)2011年度の金融市場、流通・交通市場、海外市場の業績予想の背景について補足してください。

A4)金融市場については、震災の影響により予算を凍結する金融機関は出ていませんので、順調に推移することを予想しています。

流通・交通市場については、レジつり銭機をコンビニエンスストア、飲食店、ホームセンター等で拡販し、市場のすそ野を広げていきたいと考えています。

海外市場では、中国やインドなどアジアで増収を見込んでいます。また、欧州では昨年10月に買収したシトラ一デ社の業績が寄与します。

Q5)中国の状況と2011年度の売上高の計画を教えてください。

A5)2010年度は四大銀行を中心に順調に売上が拡大しました。2011年度の売上高は中期計画どおり、50億円を計画しています。